

地雷廃絶・犠牲者救援

安房高から地域へ！！
安房地域からカンボジアへ……世界へ……

Ｑ１ 対人地雷って？

地雷には、戦車や装甲車をこわすための「対戦車地雷」と、人を殺したり傷つけたりする「対人地雷～地雷」があります。地雷の犠牲者は、年間約２万人にもなります。

Ｑ２ 「悪魔の兵器」と呼ばれるのは？

小さくて軽いが爆発力がある

地面すれすれにうめられ、乳幼児がふんだだけでも反応し爆発します。

金属探知器では探しにくい

着火の一部分だけが金属。ほとんどがプラスチックでできています。

残虐・残酷である

人を殺すのではなく、死なない程度の大けがを負わせます。介護する人手や医薬品も大きな負担です。
・被害者～肉体と精神に大きな苦痛とショック・・・
・仲間兵士～恐怖心がうえつけられて、戦意が低下・・・

いつまでも被害がつづく

戦争が終わっても、プラスチック製のため腐らずにずっと残ります・・・

無差別～相手を選ばない

兵士である・なしの区別もなく、おとな・こどもの区別もなく、地雷の上を通りかかった人を無差別に傷つけます。

Ｑ３ こどもをねらう地雷もあるの？

ヘリコプターなどのおもちゃの形のものから、チョコエッグやアイスクリームの形をしたものまであります。

Ｑ４ 地雷はどこにどの国にあるの？

７１カ国に１億１千万を超える地雷がうめられました。取り除き作業や調査の結果、現在の推定＝約６千万個～７千万個です。数多くうめられている国～カンボジア、ベトナム、アフガニスタン、ボスニア・ヘルツェゴビナ、アンゴラなど～
＊絵本「地雷ではなく花をください」の舞台の国々

Ｑ５ 地雷はどんな所にうまっているの？

昔は国境沿いでしたが、国内の戦争（内戦）が増えてからは、道路や橋、重要な建物の周りにうめられるようになりました。また、みんなが集まりそうな大きな木の下、資材や食べ物が豊富な森の中、水くみの池の周りにもたくさんあります。

Ｑ６ 地雷はどうやって見つけるの？

まず地元の人々に聞き取り調査をして情報を集めおおまかに特定します。金属探知器や地雷犬（人間の１万倍のかぎわける能力で爆薬＝地雷を探しだす犬）を使って注意深く探す方法がほとんどです。現代の地雷はプラスチックの部分が多いため、反応が弱く、また、クギでもなんでも金属でできているもの全部に反応するので大変な作業です。（地中の様子をコンピューターで調べる道具も実験中）

Ｑ７ 地雷をどうやって取り除くの？

目印の周りの草や根を取り除きます。金属探知器で場所を再確認します。二人一組、２０分交代で腹ばいになりながら、棒やハケで地面を少しずつ静かに掘り下げて見つけます。別に用意した爆薬と電線をつけます。安全な所から爆破スイッチを押して完了。

地雷は１個約３００円で買うことができますが、取り除くには、１万～１０万円のお金がかかります。
年間約１０万個の地雷を取り除いていますが、５千個につき１人の死者と２人の負傷者、つまり、年間で６０人以上が作業中に犠牲になっています。

Ｑ８ 地雷をふむとどうなるの？

約半分の人には死んでしまいます。世界には約３０万人の大けがをした人と、同じだけの人亡くなっているのです。（こどもはその場でほとんど死んでしまいます・・・）人が地雷をふんだ瞬間、その足先はあとかたもなく飛び散ってしまいます。残った部分の傷口には、地雷の破片や土ぼこりが入りこみ、バイ菌が体の中に入ってしまう。すぐに病院に運ばなければ命を失うことになるのです。

Ｑ９ どんな手術がまっているの？

見た目には足首から下のけがでも、その上の方までバイ菌が入りこんでいるのでとても危険です。そのためひざあたりから切断しなければなりません。病院も医師も薬もたいへん不足しています。治療代や薬代を払うために農地を売る人もいます。

Ｑ１０ 手足を取りもどせるの？

手術のあと回復した人は、なくした手足のかわりになる義足や義手をつけます。最近では、海外からの支援で軽くて丈夫なプラスチック製のものができるようになり、部品交換も簡単になりました。しかし、地雷の犠牲者は町から遠くはなれた農村部に多いため、義足・義手は手に入りにくいのです。

カンボジアでは、２００１年だけで８００人以上が地雷の犠牲者になっています。農村部の犠牲者に、リハビリを目的に入院費用を支援する活動がすすめられ、手や足をとりもどせた人が増えています。

世界遺産「アンコールワット」で有名なカンボジア

は、１９７０年から内戦がおこり、１９７５年には新政府を波尔・ポトがつくり、抵抗した人びとを虐殺。４年間で約２００万人が殺されました・・・（今も「キリング・フィールド＝虐殺の野」と呼ばれる跡地をみることができます）その後も大国の対立にまきこまれ内戦は激化。１９９１年まで続きました。

Ｑ１１ 地雷はいつから使われているの？

アメリカでおきた南北戦争（１８６１～１８６５）から使われ、第１次世界大戦（１９１４～１９１８）では対戦車地雷、第２次世界大戦（１９３９～１９４５）では対人地雷が発達しました。ベトナム戦争（１９６３～１９７５）からは、空中から大量にばらまく技術やプラスチック製のものが発達しました。

Ｑ１２ 地雷の進化って？

近年では３００種類以上あるといわれています。人が歩く振動や透明なワナじかけになっていてつまずくと爆発するもの、被害を大きくするために地面から飛び出してから爆発するものもあります。取り除く作業中にわずかに傾けただけで爆発するものや、金属探知器動（磁気）に反応して爆発するものまであります。

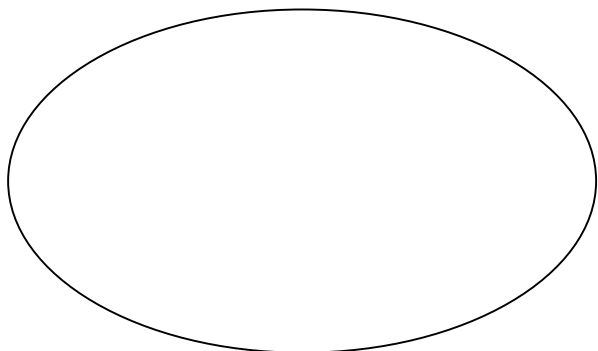
Ｑ１３ 地雷は日本にもあるの？

以前は地雷の生産国・保有国でした。約１００万個保有していた地雷も、２００３年２月８日には爆破処理が完了し、日本は地雷をもたない国になりました。

Ｑ１４ 地雷をなくすための法律はあるの？

１９９７年１２月「対人地雷全面禁止条約」ができ、地雷の「使用・生産・保有・移転（輸出入）」がすべて禁止されました。この条約に加入している国は、日本をふくめ約１５０カ国ありますが、アメリカ・中国ロシア・インドなどの生産大国は参加していません。

同じ地球の仲間として



♪ イマジン ♪ 花はどこへ行った ♪
平和を願う名曲～ジョン・レノンやボブ・ディランなど
戦争映画（'８５）「キリング・フィールド」～カンボジアの内戦や悲劇を描きアカデミー賞受賞～

< 参考図書 >

・地雷なくそう「悪魔の兵器」を～ポプラ社
・国際紛争の本～岩崎書店
・日本赤十字社国際人道法ガイドブック

・地雷ではなく花をください～自由国民社

＊地雷撤去キャンペーン絵本（全５冊各１５００円）
＊この絵本１冊の売上げ金で１０ｍ撤去可能！